

意見書案第 5 号

カーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化の更なる推進を求める意見書案

上記の意見書案を次のとおり福岡市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和4年6月22日

福岡市議会

議長 伊藤嘉人様

提出者 福岡市議会議員

堤田 寛

淀川 幸二郎

松野 隆

はしだ 和義

田中 たかし

津田 信太郎

勝山 信吾

堀本 わかこ

森 あやこ

近藤 里美

平畑 雅博

尾花 康広

中島 まさひろ

倉元 達朗

カーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化の更なる推進を求める意見書

地球温暖化や自然災害の激甚化・頻発化を受け、SDGsや2050年のカーボンニュートラル達成に向けた更なる取組が急務となっています。

「環境を考慮した学校施設（エコスクール）事業」では、「エコスクール・プラス」に認定された学校が、施設の整備を実施する際に、関係省庁より補助事業の優先採択などの支援を受けることができるようになっており、平成29年から現在まで249校が認定を受けています。さらに、令和4年度からは、「地域脱炭素ロードマップ（令和3年6月9日第3回国・地方脱炭素実現会議決定）」に基づく脱炭素先行地域などの学校のうち、ZEB Readyを達成する事業に対し、文部科学省から国庫補助単価の加算措置（8%）の支援が行われているところです。カーボンニュートラルの達成のために、より多くの学校でこのような事業が実施されることが重要です。

よって、福岡市議会は、政府が以下の事項について取り組まれるよう強く要請します。

- 1 学校施設に関するZEB化の新たな技術の開発や周知を行うこと。
- 2 「できるところから取り組む」自治体・学校を増やしていくことが、カーボンニュートラルの達成及び環境教育の充実につながることに留意して、より多くの学校がエコスクールの整備に取り組むことができるよう、事業予算額を増額すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和 年 月 日

文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、環境大臣 宛て

議長 名